

交通ルールを守って
つながる笑顔



かながわの交通

2013

7

今年の交通安全年間スローガン一般部門～運転者(同乗者を含む)に対するもの～

エゴを捨て やさしい運転 エコになる



湘南ひらつか七夕まつり



自転車はどこを走ったらいいの…? 教えて!

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

チリン・スクール を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(6月末)

| 年別 | 区分 | 発生件数 | 死者数 | 傷者数 |
|-------|----|--------|------|--------|
| 平成25年 | | 16,358 | 72 | 19,490 |
| 平成24年 | | 17,381 | 73 | 20,640 |
| 増減数 | | -1,023 | -1 | -1,150 |
| 増減率 | | -5.9 | -1.4 | -5.6 |

◎県人口・運転免許人口

| | 総数 | 男 | 女 |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 県人口 | 9,080,892 | 4,545,763 | 4,535,129 |
| 免許人口 | 5,554,683 | 3,225,491 | 2,329,192 |
| 割合 | 1.6人に1人 | 1.4人に1人 | 1.9人に1人 |

(県人口は平成25年6月1日、免許人口は平成25年5月末現在)

夏の交通事故防止運動

期 間

7月11日(木)～7月20日(土)
の10日間

目 的

夏のレジャーなどによる過労運転や夏特有の解放感による無謀運転などにより交通事故が多発することから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組みを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

スローガン

安全は 心と時間の ゆとりから

交通ルールを守って 夏を楽しく安全に

重 点

- 1 過労運転・無謀運転の防止
- 2 子どもと高齢者の交通事故防止
- 3 自転車の交通事故防止

交通安全協会の重点推進事項

- 各種会議、行事等を通じて、運動の趣旨を周知するとともに、交通ルールの遵守と交通マナーの向上を呼びかける広報啓発活動を推進します。
- キャンペーンやイベントなどの開催を通じて、子どもと高齢者の運動への参加を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や

交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。

- 交通指導員等による街角アドバイスを積極的に実施し、「交通安全ひとこえ運動」を推進します。
- 「チリリン・スクール」等の交通安全教室を開催し、自転車利用者の安全意識の向上に努めます。



ご挨拶



公益財団法人
神奈川県交通安全協会
専務理事

西村 昇

今回、公益財団法人神奈川県交通安全協会の専務理事に就任いたしました西村でございます。

神奈川県交通安全協会は、昭和23年3月に発足以来、民間における交通安全活動の中核的な推進団体として、県民の交通安全意識の普及と交通事故防止に多大な成果をあげてま

いりました。

この度、この歴史と実績のある当協会の専務理事に就任させていただき、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

県や県警察のご指導のもと県民の皆様をはじめ関係機関、団体のご支援、ご協力をいただき仕事を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、県内における交通事故状況でございますが、発生件数及び負傷者数は年々減少しているものの、死者数はここ5年、180人前後と高い比率で推移しており、特に高齢者が関係

する死亡事故は増加し、全死者数の4割を超え半数に迫る勢いであります。

また、自転車利用者が増大するなか、自転車の関係する悲惨な事故も後を絶たず、依然として厳しい状況が続いております。

当協会といたしまして、このような交通情勢をふまえ、地区交通安全協会と一体となり、県警察をはじめ関係機関、団体のご支援、ご協力をいただき、県民の交通安全意識の高揚を図ってまいります。

皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

二輪車交通事故防止強化月間の実施結果

6月中、神奈川県交通安全対策協議会が主唱して「運転に ゆとり やさしさ 思いやり」をスローガンに、多発する二輪車の交通事故防止と二輪運転者の交通安全意識を高める運動を推進しました。各地区交通安全協会の取り組み、活動につきましては、本紙巻末に一部紹介しています。

二輪車事故は、発生件数、負傷者数とも減少傾向にありますが、6月中の死者数は6人と多発、特に6月末現在では、死者数が29人で前年比8人増加し、交通事故死者数全体の約4割を占めています。

● 二輪車事故発生状況(概数)

| | 6 月 中 | | | 6 月 末 | | |
|---------|-------|------|------|-------|-------|-------|
| | 発生件数 | 死者数 | 負傷者数 | 発生件数 | 死者数 | 負傷者数 |
| 平成 25 年 | 761 | 6 | 702 | 4,691 | 29 | 4,144 |
| 前年同期比 | -70 | ±0 | -28 | -400 | +8 | -350 |
| 増 減 率 | -8.4 | 0.0 | -3.8 | -7.9 | +38.1 | -7.8 |
| 構 成 率 | 29.0 | 54.5 | 22.8 | 28.7 | 40.3 | 21.3 |

※ 構成率は交通事故総数(表紙下段表)に占める二輪車事故の割合を示す。

地区交通安全協会新会長人事(敬称略)



横須賀交通安全協会

中村 昌弘

(平成25年6月12日付)

第44回交通安全こども自転車神奈川県大会 第2回交通安全高齢者自転車神奈川県大会

厚木市立清水小学校が初優勝

公益財団法人神奈川県交通安全協会、神奈川県自転車安全教育推進委員会、神奈川県警察主催、神奈川県教育委員会、横浜市道路局等後援の第44回交通安全こども自転車神奈川県大会及び第2回交通安全高齢者自転車神奈川県大会が、7月6日(土)、横浜市中区の横浜文化体育館で開催されました。

今大会から新たに横浜市交通安全協会長賞と川崎市交通安全協会長賞が設けられ、こども自転車大会には、県下21小学校から84人の選手が参加、全国大会と同様に学科テストを先行実施した後、開会式を行い、安全走行テスト、技能走行テストに日頃の訓練の成果を競いました。また、昨年からはじめた高齢者自転車大会については、昨年の「板乗り走行」を本年は「遅乗り走行」に換えて開催し、12チーム36人の参加がありました。

各チームは、地区の予選大会を勝ち抜いてきたり、警察署交通課の協力により学科に力を入れ、あるいは厳しい技能訓練を重ねたりして大会に参加するチームが多く、また選手一人ひとりの気合いや緊張も伝わり、付き添いの保護者等の応援もヒートアップ、熱戦が展開されました。

大会の結果、こども自転車大会の団体は厚木市立清水小学校チーム(出場選手=三宅愛莉・6年、藤岡美佳・6年、志水萌香・6年、尾上諒汰・6年)が初優勝、個人では、同校の尾上諒汰選手が見事総合優勝に輝きました。優勝した清水小学校チームは、8月7日(水)に東京ビッグサイトで開催される第48回子供自転車全国大会に神奈川県代表として出場する予定です。

高齢者自転車大会は、大和綾瀬チームが接戦を制して初優勝しました。



こども自転車大会の結果

| ● 団体成績 | ● 個人成績(敬称略) |
|-----------------|----------------------|
| 優勝 厚木市立清水小学校 | 第1位 厚木市立清水小学校 尾上 諒汰 |
| 第2位 厚木市立緑ヶ丘小学校 | 第2位 厚木市立清水小学校 藤岡 美佳 |
| 第3位 開成町立開成南小学校 | 第3位 厚木市立緑ヶ丘小学校 大槻 智士 |
| 第4位 大和市立中央林間小学校 | 第4位 厚木市立緑ヶ丘小学校 鈴木 祥太 |
| 第5位 開成町立開成小学校 | 第5位 開成町立開成小学校 菅野 航 |
| 第6位 川崎市立岡上小学校 | 第6位 相模原市立横山小学校 高山 統至 |

高齢者自転車大会の結果

| ● 団体成績 |
|------------|
| 優勝 大和綾瀬チーム |
| 第2位 金沢チーム |
| 第3位 相模原チーム |
| 第4位 厚木チーム |
| 第5位 栄チーム |
| 第6位 浦賀チーム |

地区交通安全協会事務長会議の開催



6月27日(水)午後、県協会会館で「地区交通安全協会事務長会議」を開催しました。会議では県交通安全協会の西村専務理事の挨拶に続いて、専務理事から平成25年度の事業計画等、各部長から各部の活動状況等について報告を行いました。県警察と県くらし安全交通課からは交通事故防止その他連絡事項について説明があり、最後に(株)野村総合研究所の丸田哲也氏から「事故情報メールと重ねて安心!マップの効果分析と活用について」と題して調査結果報告がありました。

第4回評議員会・第9回理事会の開催

6月20日午後2時から県協会会館において、平成25年度第4回評議員会、引き続いて第9回理事会を開催しました。会



長挨拶、来賓として県警察猪又交通部長の挨拶、東海林評議員長の挨拶に続いて「平成24年度神奈川県交通安全協会事業報告」、「平成24年度神奈川県交通安全協会決算報告」のほか、評議員等の改選について審議した結果、当協会専務理事に西村昇氏が就任することなどが承認されました。

会議の最後に、県交通安全協会の役員として永年ご活躍され、このたびご勇退されました9名の方に対する表彰が行われ、合わせて前専務理事高橋民雄氏への(一財)全日本交通安全協会会長からの表彰状の伝達を行いました。(写真・第4回評議員会)

交通事故の悲劇に学ぶ⑥

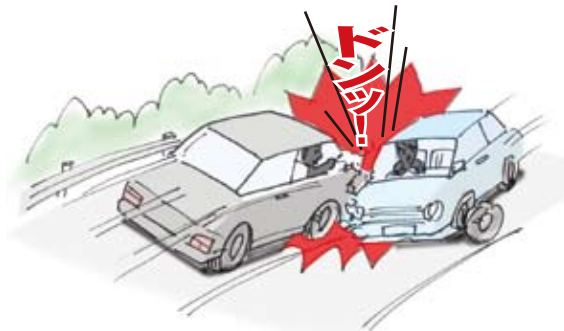
●「スピードと私の運転」

私は、日ごろから、スピードというものを甘くみていたように思います。多くの人は、定められた速度より10キロメートル、悪い人になれば20キロメートル以上はなんの気なしに出しているのではないかと思います。しかし、その安易な考えが悲惨な結果を引き起こすことになるのです。

私はその日、いつものように勤めを終え、同僚と湖畔沿いの道をドライブし、同僚を送り届け自宅に向かっていました。私は、スピードを出すのが好きでしたので、いつもの調子で前車に追いつくと、レース中のレーシングカーの気分で前車を追い越し、また、次の車に追いつくとスキを見ては、追い越してしまうような荒っぽい運転を繰り返しながら直線の長い下り坂にさしかかりました。その坂は、下りきった所にT字の信号機のある交差点があり、そこから300メートルほど行った先で、ゆるく右にカーブをしている坂道です。

私は、坂を下り始めたばかりでしたので、その場から信号が赤になっているのがわかり、また、前方に車が2台ほど止まっていることがわかりましたので、速度を落として下っていききました。そして、信号が青になった瞬間、私はいつものくせで車を加速し、そのまだ走り始めたばかりの前車を次々に追い越していったのです。下り始めたときには2台ほどに見えた車も、実際には前車は3台だったのです。そして、その300メートルほどの直線で前を走っていた先頭の車と競争をするような状態になってしまい、そのときにはすでに対向車のヘッドライトの明かりが、ガードレールに反射していました。

そこで私があきらめればよかったものを、運転の未熟さからそんな余裕もなく、ゆるい曲がりカーブにさしかかり、追い越してしまいました。追い越し終えた際に、気持の焦りから急ハンドルをきってしまい、私の車の後部が左にローリングし始め、私はとっさに逆ハンドルをきりましたが間に合わず、そのまま対向車線に入ってしまい、対向車と衝突してしまいました。そのはずみで、私の車の後部は右側にあった電柱にぶつかり、その衝撃で左の車輪が浮き上がり、次の対向車をかすり、私の車は



さかさまになり、また次の電柱にぶつかり、それと同時に、二輪車を巻き込んでしまったわけです。そして、私の車はさかさまになったまますべっていき、センターラインの上で止まりました。

目には、フロントガラスの細かい破片が入りました。でもその時、私にも信じられないほどの涙が止めどもなく流れ、私は何とか目を開けることができました。そして、開けた目に映ったのは、私の車の横の窓でした。私はすぐにその窓からはい出しましたが、意識がはっきりせず、ただ、車の周りを回っているだけでした。ふと気が付くと、車のエンジンの音とカーステレオの音が聞こえ、そして辺りを見回すと、人が仰向けに倒れているではありませんか。私は素早くその人にかけて寄り、呼び掛けました。まだ呼吸はしていたので、私は血だらけになっているのも忘れ、無我夢中で電話を探しました。その時にはすでに、近所の方が電話をかけていましたが、私は、無意識のうちに自分の家に電話をしてしまうほどでした。しばらくして救急車の音がしだいに近づき、負傷者とともに病院へ運ばれたわけです。そして、その二輪車のかたは、5時間後になくなってしまいました。

この事故で、死傷者4名という大惨事になり、その結果として、刑期1年6月～2年という刑を受けることになりました。私は、二度とこのような悲惨な事故を起こさないために、今までのスピードに対する考え方を深く反省するとともに、受刑生活を送りながらこれからの人生で、この自分の犯した罪を償っていくことを心に強くいい聞かせています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行 「贖いの日々(第21集)」から～

インフォメーション

- 第46回二輪車安全運転全国大会
—8月3日(土)、8月4日(日)三重県鈴鹿サーキット
- 第48回子供自転車全国大会
—8月7日(水)東京ビッグサイト

賛助会員のご紹介

このコーナーでは、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 平和交通(株) ————— 横浜市中区太田町
- 杉原栄一 ————— 横浜市金沢区釜利谷南
- (株)セノン神奈川支社 ————— 横浜市中区桜木町

新任事務長を紹介～よろしくお願ひします～

【抱負】

本年4月1日、鎌倉交通安全協会の事務長に就任いたしました原田と申します。私は、消防職員として40年余り勤務し、定年退職となりました。



鎌倉交通安全協会
原田 健一事務長

今まで消防畑一筋だった私には、事務・経理の仕事はどう進めていくのか分からない状態ですが、前事務長、スタッフ他周りの方々に支えられながら日々業務を行っています。

さて、鎌倉市では世界遺産登録に向け各運動を実施していたこと、また、映画、テレビ等でのロケ地としても有名であることから他県、他市から多くの観光客が訪れています。

このため、観光客等の交通事故も多発している地域でもあります。このような事故を含め、当協会では「事故のない明るい街 かまくら」をモットーに警察署、交通安全活動推進委員、交通指導員等と連絡を密にしながら、各種交通安全運動のキャンペーン等を実施し、地域住民が暮らしやすい街を目指し、微力ではありますが、努力していきたいと思ひます。

【プロフィール】

福岡県飯塚市出身で、現在、茅ヶ崎市に母・妻・長女・柴犬(さくら)と暮らしています。趣味はゴルフ、高校野球観戦、ドライブです。休日は孫を乗せ海へドライブに行くのを楽しみにしています。

【抱負】

本年5月1日、足柄交通安全協会の事務長に就任しました府川です。

今年の3月末で松田町役場を定年退職し、心機一転、協会の仕事を始めたところです。ご多分に漏れず初めての仕事のため毎日毎日悪戦苦闘の日々が続いております。



足柄交通安全協会
府川 光正事務長

ただ同じ松田町内に協会事務所があるため、見慣れた風景や同じ風を感じとることが出来る点は心の安らぎにもつながり、大変ありがたく感じているところです。

当協会は南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町の一市五町を管轄エリアとしており、北や西は丹沢大山国定公園・西丹沢山系や箱根外輪山に囲まれ、南は相模湾からは爽やかな風が漂い、中央にアユ釣りでも有名な酒匂川が流れ、豊かな足柄平野が広がる地域です。

役場時代は、主に松田町民を対象に仕事をしてまいりましたが、今度は人も地域範囲も大きく広がりました。

不安を抱えながらではありますが、これからも協会の本旨でもある交通安全思想の高揚と交通マナーの向上を図り、交通事故のない安全で快適な交通社会の実現に向け、様々な事業を展開していく所存であります。

とは言え、やはり事業を推進するには、松田警察署はもちろん県や足柄などの協会に携わる方々やご協力いただく地域の団体や個人の力添えがなければなりません。人と人のつながりを大切に微力ではありますが、職務に励みたいと思ひますので、今後のご指導よろしくお願ひいたします。

【プロフィール】

地元開成町生まれの開成町育ちという生粋の開成人です。昭和50年に松田町役場に入り、教育委員会、庶務、農政、福祉、水道・下水道など様々な分野の行政に携わってきました。

家庭では子育ても終わり、これから秋までの間は、のんびりと趣味である溪流釣りに出かけたいと考えています。

冬は毎年参加しているスキーツアーにも行きたいと思ひますが、それまでの間は健康管理に注意したいと思ひます。



二輪車安全運転全国大会へ特訓中!

昨年の二輪車全国大会では団体総合第7位という成績でしたが、今年こそは平成8年以來の優勝をと、猛暑にもかかわらず強い意気込みで来る8月3、4の両日に三重県鈴鹿サーキットで開催される第46回全国大会に向けて、特訓中です。

今年からは、特別指導員でもある橋本新監督が訓練を指揮しています。

特別指導員や県警白バイ隊員が心構えや法規履行走行、技能走行のテクニックを丁寧に指導するとともに、特に県大会では行なわなかった傾斜地走行、レムニー走行、悪路応用走行訓練を追加して、大会本番に備えた実践的な訓練を実施しています。全国大会本番に乞うご期待。



傾斜地走行訓練

祝 設立60周年 逗子市交通安全協会

昭和28年の発足から今年で協会設立60周年を迎えた逗子市交通安全協会は、定時総会后、逗子市長、逗子警察署長、公益財団法人神奈川県交通安全協会専務理事を来賓として、記念式典を開催しました。

協会が発行する広報紙「ゆとり『設立60周年特集号』」では来賓の祝辞を掲載するとともに、協会のあゆみを紹介しています。特にこの10年間では、新たな事業として小学生を対象とした交通安全ポスターコンクールを大々的に開催したり、交通安全子ども自転車大会へ2校参加することとしたほか、広報啓発活動に重点指向し、各季の交通安全運動ではタレントや園児、中学生に1日警察署長を委嘱して交通安全パレードを行うなど、交通安全思想の普及高揚に努めてきました。

その結果、昨年9月で一旦は途切れましたが「死亡事故ゼロ1,788日」という県下第2位の記録を打ち立てるなど成果を上げたところで、式典ではお互いの懇親を深めるとともに、今後の更なる発展を誓いました。



今点けて! まだ明るいは もう暗い

TSマーク普及等優秀自転車整備店の表彰

自転車安全整備店として、点検整備に伴うTSマークの普及を通じて自転車の交通事故防止と被害者救済に貢献したことにより、平成24年度中のTSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店として本県からは「ハイパーマーケットオリンピック川崎鹿島田店」、「オリンピック平塚店」、「オリンピック大倉山店」、「ハイパーマーケットオリンピック東戸塚店」、「オリンピック港北ニュータウン店」、「だいわ自転車宮前店」の6店が選ばれ、当協会の只野交通安全活動推進部長が各店舗に赴き、(公財)日本交通管理技術協会(仁平岡雄会長)からの感謝状を伝達しました(写真)。各店長は「TSマークの普及が事故防止と自転車利用者のためにもなることは仕事の励みになります。」と喜びを語っていました。



平成25年度交通安全ファミリー作文コンクール

内閣府、(一財)全日本交通安全協会等主催、警察庁、文部科学省後援により、交通安全について、考え話し合った内容、身近な体験談、独自の工夫や実践例などの作文(題材自由)を募集しています。

《応募期間》

平成25年6月20日(木)から9月10日(火)※当日消印有効

《応募区分》

①小学生の部 ②中学生の部 ③一般(高校生以上)の部

《賞》

- ◇ 最優秀作:内閣総理大臣賞 各部1名
- ◇ 優秀作:内閣府特命担当大臣賞 ◇ 佳作:内閣府政策統括官賞
- 小学生の部 6名以内 ● 小学生の部 各学年原則5名以内
- 中学生の部 3名以内 ● 中学生の部 各学年原則6名以内
- 一般(高校生以上)の部 1名 ● 一般(高校生以上)の部 5名以内
- ◇ 副賞
- 小学生の部、中学生の部 図書カード等
- 一般(高校生以上)の部 賞金(最優秀5万円、優秀作3万円、佳作1万円)



《表彰》

◇ 最優秀作受賞者は、平成26年1月17日(金)開催予定の交通安全国民運動中央大会において表彰、優秀作及び佳作受賞者については、内閣府及び関係主催団体から表彰状等を送付します。

《お問い合わせ先》

事務局～(株)海風社内 「交通安全ファミリー作文係」 TEL: 06-6586-6227
内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付交通安全啓発担当 TEL: 03-3581-1182
<http://www8.cao.go.jp/koutu/index.html> E mail:sakubun@kaifusha.co.jp

鎌倉警察署で更新運転免許証の即日交付開始

～県下で5署目～

鎌倉警察署の新築、移転に併せて、鎌倉交通安全協会も移転し、いずれも、本年7月8日(月)から業務を開始しましたが、**8月1日(木)から**茅ヶ崎、藤沢、藤沢北、鎌倉、大船、逗子の各警察署管内にお住まいの方で

- ① 優良運転者講習受講対象者
 - ② 高齢者講習受講済者
 - ③ 更新時講習又は高齢者講習免除者(運転免許取得者教育、特定任意高齢者講習等を受けた方)
- に該当する方は、鎌倉警察署で運転免許証の即日交付手続きができます。

- 受付時間(休日を除く平日)8:30～11:00、13:00～16:00
- ▽ 鎌倉警察署 鎌倉市由比ガ浜2-11-26 電話:0467(23)0110
- ▽ 鎌倉交通安全協会 鎌倉市由比ガ浜2-7-21 由比ガ浜公会堂1F
電話:0467(23)2923 FAX:0467(25)2614

※証紙販売等は、鎌倉警察署1階で行います。



葉山町交通安全協会
会長
加藤 清さん



晴れた日には遠く天城山脈、江ノ島、とりわけ仰ぎ見る富士山は絶景、生産量は少ないが希少価値が高い葉山牛、夏に賑わいを見せる森戸二色、長者ヶ崎の各海水浴場、葉山マリーナなどのマリンスポーツ施設、釣り船も行き交う葉山漁港、海岸近くには葉山御用邸のほか著名人の別荘、遠くに裕次郎灯台を見渡せる風光明媚な街、葉山。

魅力溢れる葉山生まれの葉山育ちで地元近隣の小、中、高校を経て、大学では建築工学を専攻し、二級建築設計士として事業を営むとともに、地元葉山町町会議員として5期20年の長きに渡り町の発展に尽力してこられました加藤清さん。

今回は、石郷岡重臣前会長の後任として去る5月の総会で当葉山町交通安全協会会長に就任されました加藤会長を紹介いたします。

加藤さんの趣味はスポーツ。特に子どもの頃から野球に親しみ、社会人になってからの草野球歴を入れると通算40年くらい野球に打ち込んできました。現在は、22年続けている葉山町のバレーボール協会会長として、町事業に貢献し、姉妹都市の群馬県草津町には何度も訪れ、親睦交流を図っています。当協会の市川事務局長は、ママさんバレー選手として現役のころから加藤会長とは知り合いで、そのころから会長は温厚で人柄も良く、誰からも好かれる人格円満な方との印象を持っているとのこと、その性格を現すかのように、信念とするところは、「和と輪」と

のことで、周りの人たちのつながりをととても大切にしているそうです。

葉山警察署員からも「会長は明るく、「所懸命」との評判通り、警察署との緊密な連携にも意欲を見せており、交通情勢は昨年と比べて今年も死者もなく、発生件数、負傷者数とも減少しています。が、運転免許保有者の高齢（65歳以上）化率が県下第2位であり、協会としても今後は高齢者を中心とした自転車や二輪車の関係する事故の防止に重点指向して、例えば毎年10月に行われる「ふるさとひろば」などにおいて広報啓発を行うなど、悲惨な交通事故の防止に取り組むとのこと。

葉山町の隅々まで知り尽くし、葉山町をこよなく愛する加藤会長には、日課である毎朝の健康ウォーキングを継続され、今後も交通安全協会の活動にご尽力をお願いします。

（取材協力・葉山町交通安全協会）

こんにちは
「中原交通安全協会」です

中原区は川崎市内7区の一つで、人口は27万人を数えます。50階以上のマンションが次々と建設され街の様子も、人の流れも日々変化している活気のある地域です。

中原区には30年前から続いている交通安全児童指導員の制度があります。各児童が交通安全に関心を持ち、正しい交通ルールを学び、実践することで他の児童の模範となるとともに、交通安全の普及に努めることを目的としています。交通安全児童指導員は警察署長と交通安全協会会長から委嘱され一年間活動します。今年度は3つの小学校の4年生から6年生までの10名の子ども達が委嘱されました。

「春の全国交通安全運動」では、武蔵小杉駅前で駅頭キャンペーンを行い、子ども達が大きな声で交通事故防止を呼びか

けると、子ども達の活動に興味を持ち道行く人も足を止めてくださいました。「いこいの家」を訪問しラジック体操を行った時も、普段なら腰の重い高齢者の方々が、孫のような子ども達と一緒に嬉しそうに体操をしている姿が印象的でした。緑の制服とオレンジのベレー帽が特徴の交通安全児童指導員は、中原区民祭のパレードに参加したり、地域の自転車教室でお手伝いを行うなど活躍し、親、祖父母をはじめ他の子どもなど多くの区民の方々にも関心を持って見守っていただいています。

当協会では、児童を中心とした交通安全教育に力を入れ、自転車のマナーアップや、将来を担う子どもがドライバーとして交通安全意識の向上に繋がるような活動を行いたいと考えています。役員をはじめ、地域交通安全活動推進委員や交通安全指導員が中心となって、地域での自転車教室や子ども文化センターへの訪問を行うなど地道な活動のお蔭で、今年度は地元の中学校から交通安全活動に生徒も



協力したいとの連絡をいただきました。警察署、区役所とも連携し、中学生が自ら考え行動できる交通安全活動とは何かを模索しています。

若者の活躍が地域を動かし、自転車のマナーアップだけでなく、高齢者の交通事故防止にまで広がっていくことを願いながら、新しい風と共に安全協会も安全安心な街づくりに協力してまいります。

（奥山 記）

地区交通安全協会の活動紹介



都 筑

警察署と連携してセンター北駅前広場及びその周辺道路において、通行中の二輪運転者等にチラシや啓発物等を配布しながら「二輪車事故防止」「暴走族追放」を呼びかけました。



宮 前

宮前区役所前交差点において、区交対協等と連携し、バイクルーターに対して啓発物を配布しながら、交通安全を呼びかけるなど「二輪車交通事故防止」キャンペーンを実施しました。



浦 賀

国道134号北八里浜駅前において、警察署交通課長の挨拶の後、通行する二輪車を呼び止めて、運転者に手ぬいなどのグッズを配布しながら「二輪車の交通事故防止、暴走族追放」キャンペーンを実施しました。



座 間

警察署前において、「二輪車交通事故防止運動」の幟り旗を掲げ、チラシなどを配布しながら、県内は「二輪車の死亡事故が多いこと等を訴え、二輪車を署内敷地に呼び込み指導しました。

港 北

東急東横線日吉駅前において、警察署交通課長等の出席を得て、区交対協とともに、駅利用者(車)に対し、「二輪車事故防止、違法駐車追放」などのキャンペーンを展開しました。



中 原

関東労災病院前交差点において、警察署等と連携し「二輪車運転者呼び込み」「二輪車販売店による点検と啓発物を配布しながらの街頭指導を行い、二輪車の交通事故防止を呼びかけました。



田 浦

京急追浜駅前の国道16号において、信号待ちする二輪運転者に対して、啓発グッズを配布しながら、交差点での右直事故の危険性など安全確認、事故防止を呼びかけました。



平 塚 市

神奈川県平塚市駅前バス駐輪場において、「二輪車通学してくる学生を対象に、二番協がブレイキなどの車両点検を行うとともに、チラシや啓発グッズを配布しながら「二輪車事故防止」を呼びかけました。



二輪車交通事故防止強化月間

編集後記

今年の国内男子のプロゴルフ界では、ルーキーの松山英樹氏が5戦して2勝、また全米オープン初出場で10位入賞と大活躍していますが、我々アマチュアゴルファーにとってもラウンドに適した季節となりました。ゴルフ場は車でなければたどり着けない立地にあるのがほとんどで、ゴルフとドライブは切っても切れない仲だと思います。ゴルフ場までのドライブは、ベストスコアやナイスショットを想像しながら戦略を考える何とも楽しい時間ではないでしょうか。そんなゴルフ場への往復ドライブでコース外でのOB(事故)を出したりすることだけは避けたいところです。今年の年間スローガンは「安全は、心と時間の、ゆとりから」です。まずは、朝寝坊せず時間の余裕を持って現地に到着できるよう行動したいものです。

今年も夏の交通事故防止運動が7月11日(木)から始まりますが、重点の一つに子どもと高齢者の交通事故防止が掲げられています。

夏休みになると、子ども達をよく道路で見かけるようになります。最近、学童の列に車が突っ込むというような交通事故の発生が目立ちます。子どもを見たらスピードを落とし、いつでも止まることが出来る速度を心がけましょう。また、子どもは夏休み中、自宅近くで自転車を利用する機会が増えると思います。自転車のマナーを守って、加害者にも被害者にもならないように、安全に自転車を利用してくださいます。悲惨な交通事故を一件でも減少させることができるように、この夏も交通事故防止の徹底をよろしくお願ひします。

(大平 記)